

第 6 期 報 告 書

〔 2021年4月1日から2022年3月31日まで 〕

一般財団法人 明治安田健康開発財団

東京都新宿区西新宿一丁目8番3号

目 次

第6期事業報告（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

I. 事業の概況	1
II. 事業別概況	2
III. 理事会に関する事項	22
IV. 評議員会に関する事項	28
V. 寄附に関する事項	30

第6期決算報告（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

I. 貸借対照表	31
II. 正味財産増減計算書	32
III. 財務諸表に対する注記	36
IV. 附属明細書	38
V. 財産目録	39
VI. 監査報告書	41

第7期事業計画（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

I. 基本方針	42
II. 実行計画	42
III. 収支予算書	44

第 6 期 事 業 報 告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

I. 事業の概況

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が長期にわたり発出され、オミクロン株などの変異株の発生も確認された。一方で、ワクチン接種も進展し、各種経口薬が特例承認されるなど、感染予防・未病に向けたさまざまな対策が講じられた。

このような環境下において、健診事業については、新型コロナウイルス蔓延防止対策をいっそう強化しつつ、午後健診のPRはじめ受診勧奨の積極化、健診枠・受診コースの拡大等を実施したことに加え、協会けんぽを中心とした新規団体からの受診者数も増加したことから、年間総受診者数は2020年度水準を上回る18,993人となった。

「座り過ぎ」と「活発度」を測定する「MYライフ・ドック[®]」については、コロナ禍にもかかわらず、明治安田生命をはじめとする23健保・団体のご協力により、2,677人の対象者へのサービス提供を行なった。

また、明治安田厚生事業団との連携により、健診データを活用した調査研究活動にも取り組んだ。

健康増進支援事業については、明治安田生命が推進する「みんなの健活プロジェクト」、「地元の元気プロジェクト」に関わる支援活動を中心に、健康増進に関する法人向け、住民向けの活動を推進した。具体的な内容として、法人向けでは、従業員の健診結果改善に向けたマニュアルの作成や動画コンテンツの作成を行ない、住民向けでは、健康増進セミナーや各種イベントを開催した。

また、健康経営に関わる業務としては、明治安田生命と連携し、健康経営優良法人の認定取得に向けたコンテンツの開発や、法人向けの体験型セミナーの開催を実施した。さらに、コロナ禍の厳しい環境下でも効果が期待できるWEBを活用したセミナーの導入等、非対面型サービスの開発に注力した。

Ⅱ．事業別概況

1．人間ドック（健診）事業

Ⅰ．第6期（2021年度）人間ドック（健診）事業等受診状況

1．性・健診コース別受診者数

表1は、2021年度（第6期）と2020年度（第5期）の受診者数を性・健診コース別の受診者数とその割合、うち午後の健診状況を示したものである。なお、各健診コースの内容は以下のとおりである。

「人間ドック」は日本人間ドック学会で定められている基本検査項目を全て満たしているコース、「生活習慣病健診」は人間ドックのコースの検査項目から腹部超音波や一部の血液項目が検査されていないコース、「定期健康診断等」は労働安全衛生規則により定められている項目ならびにそれに準ずるコース、そして、「その他の健診」は婦人科、乳腺などの単独の検診や区民健診などである。

【表1】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の性・健診コース別受診者数と平均年齢

（全体）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

		2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
受診者数	人間ドック（総合健診）	6,117	66.9	5,939	60.3	12,056	63.5	6,194	68.7	5,562	61.0	11,756	64.8
	生活習慣病健診	1,153	12.6	1,539	15.6	2,692	14.2	965	10.7	1,328	14.6	2,293	12.6
	定期健康診断等	1,729	18.9	1,420	14.4	3,149	16.6	1,736	19.3	1,372	15.0	3,108	17.1
	その他の健診	149	1.6	947	9.6	1,096	5.8	122	1.4	859	9.4	981	5.4
	合 計	9,148	100	9,845	100	18,993	100	9,017	100	9,121	100	18,138	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	51.7		51.7		51.7		51.1		51.3		51.2	
	生活習慣病健診	47.5		47.9		47.8		47.1		48.1		47.7	
	定期健康診断等	30.3		29.9		30.1		31.5		30.2		30.9	
	その他の健診	38.6		43.5		42.9		39.3		44.4		43.8	
	合 計	46.9		47.2		47.1		46.8		47.0		46.9	

（午後）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

		2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
受診者数	人間ドック（総合健診）	152	18.9	277	16.9	429	17.6	215	27.4	251	18.7	466	21.9
	生活習慣病健診	90	11.2	137	8.3	227	9.3	80	10.2	114	8.5	194	9.1
	定期健康診断等	539	67.2	523	31.9	1,062	43.5	482	61.5	334	24.9	816	38.3
	その他の健診	21	2.6	704	42.9	725	29.7	7	0.9	642	47.9	649	30.5
	合 計	802	100	1,641	100	2,443	100	784	100	1,341	100	2,125	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	51.2		50.0		50.4		50.1		51.5		50.9	
	生活習慣病健診	45.8		45.7		45.8		46.2		47.2		46.7	
	定期健康診断等	29.3		28.4		28.8		34.1		29.7		32.3	
	その他の健診	38.8		43.9		43.7		39.0		44.2		44.1	
	合 計	35.5		40.1		38.6		39.8		42.2		41.3	

- 1) 2021年度（第6期）の各健診コースの受診者数の合計は18,993人で、2020年度（第5期）に比べ、男性131人、女性724人増加して、全体では合計で855人増加した。
- 2) 2021年度の男女の受診割合は、女性受診者の増加に伴い、女性受診者の割合が51.8%と男性受診者の割合48.2%に比べ高くなった。
- 3) 各健診コースの受診者数は、全てのコースで増加し、2020年度（第5期）に減少した人間ドックも増加に転じた。
- 4) 平均年齢は、男女とも人間ドックのコースは50歳代前半、生活習慣病健診は40歳代後半となっており平均年齢が上昇する一方、定期健康診断等、その他の健診の平均年齢は男女とも低下した。

2. 性・月別受診者数

表2は、2021年度（第6期）と2020年度（第5期）の性・月別受診者数とその割合、うち午後の健診状況を示したものである。

【表2】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の性・月別受診者数

（全体）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
4月	294	3.2	362	3.7	656	3.5	49	0.5	56	0.6	105	0.6
5月	383	4.2	307	3.1	690	3.6	8	0.1	33	0.4	41	0.2
6月	778	8.5	1,003	10.2	1,781	9.4	559	6.2	482	5.3	1,041	5.7
7月	863	9.4	797	8.1	1,660	8.7	863	9.6	765	8.4	1,628	9.0
8月	892	9.8	832	8.5	1,724	9.1	934	10.4	870	9.5	1,804	9.9
9月	966	10.6	1,228	12.5	2,194	11.6	909	10.1	1,157	12.7	2,066	11.4
10月	1,062	11.6	1,380	14.0	2,442	12.9	1,136	12.6	1,331	14.6	2,467	13.6
11月	1,234	13.5	1,139	11.6	2,373	12.5	1,154	12.8	1,135	12.4	2,289	12.6
12月	840	9.2	1,074	10.9	1,914	10.1	1,127	12.5	968	10.6	2,095	11.6
1月	731	8.0	629	6.4	1,360	7.2	829	9.2	879	9.6	1,708	9.4
2月	609	6.7	515	5.2	1,124	5.9	744	8.3	789	8.7	1,533	8.5
3月	496	5.4	579	5.9	1,075	5.7	705	7.8	656	7.2	1,361	7.5
合 計	9,148	100	9,845	100	18,993	100	9,017	100	9,121	100	18,138	100

（午後）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
4月	18	2.2	28	1.7	46	1.9	1	0.1	5	0.4	6	0.3
5月	47	5.9	53	3.2	100	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6月	59	7.4	142	8.7	201	8.2	15	2.0	47	3.5	62	3.0
7月	95	11.8	165	10.1	260	10.6	75	9.6	106	8.0	181	8.5
8月	89	11.1	137	8.3	226	9.3	34	4.3	95	7.1	129	6.1
9月	102	12.7	214	13.0	316	12.9	35	4.5	136	10.1	171	8.0
10月	99	12.3	221	13.5	320	13.1	107	13.6	193	14.4	300	14.1
11月	115	14.3	202	12.3	317	13.0	119	15.2	189	14.1	308	14.5
12月	67	8.4	208	12.7	275	11.3	131	16.7	172	12.8	303	14.3
1月	46	5.7	84	5.1	130	5.3	91	11.6	161	12.0	252	11.9
2月	35	4.4	86	5.2	121	5.0	108	13.8	138	10.3	246	11.6
3月	30	3.7	101	6.2	131	5.4	68	8.7	99	7.4	167	7.9
合 計	802	100	1,641	100	2,443	100	784	100	1,341	100	2,125	100

- 1）2021年度（第6期）の健診稼働日は252日（男性128日、女性124日）となり、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の影響で健診稼働日が少なくなった前年度に比べて29日増加した。1日当たりの平均受診者数は75.3人（男性36.3人、女性39.0人）となった。
- 2）2021年度（第6期）は午後の人間ドック、生活習慣病健診、定期健康診断の実施日を前年度より21日増やしたため午後健診総数が前年度に引き続き318人増加した。
- 3）2021年度（第6期）月別受診者数のピークは10月の2,442人であるが、受診者数がピークの半分にも満たない月は4ヵ月あり受診者数の平準化が喫緊の課題である。

3. 性・年齢階級別受診者数

表3は、2021年度（第6期）と2020年度（第5期）の受診者数を性・年齢階級別に示したものである。

【表3】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の性・年齢階級別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,052	11.5	1,030	10.5	2,082	11.0	997	11.1	965	10.6	1,962	10.8
30－39歳	1,581	17.3	1,716	17.4	3,297	17.4	1,499	16.6	1,557	17.1	3,056	16.8
40－49歳	2,531	27.7	2,686	27.3	5,217	27.5	2,681	29.7	2,569	28.2	5,250	28.9
50－59歳	2,419	26.4	2,794	28.4	5,213	27.4	2,412	26.7	2,590	28.4	5,002	27.6
60－69歳	1,190	13.0	1,251	12.7	2,441	12.9	1,122	12.4	1,130	12.4	2,252	12.4
70歳以上	375	4.1	368	3.7	743	3.9	306	3.4	310	3.4	616	3.4
合 計	9,148	100	9,845	100	18,993	100	9,017	100	9,121	100	18,138	100

- 1）2021年度（第6期）と2020年度（第5期）の年齢階級別の受診者を比較すると、男性は40－49歳で受診者数が150人減少したものの、それ以外の年齢階級は全て増加し、女性については、全ての階級で増加した。
- 2）年齢階級別には、30－39歳で241人と最も増加した。

4. 性・受診回数別受診者数

表4は、2021年度（第6期）と2020年度（第5期）の受診者数を性・受診回数別にその割合を示したものである。

【表4】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の性・受診回数別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
初回受診	1,993	21.8	2,232	22.7	4,225	22.2	2,664	29.5	2,514	27.6	5,178	28.5
2回	1,475	16.1	1,495	15.2	2,970	15.6	1,228	13.6	1,358	14.9	2,586	14.3
3回	968	10.6	1,071	10.9	2,039	10.7	932	10.3	825	9.0	1,757	9.7
4回	806	8.8	740	7.5	1,546	8.1	551	6.1	597	6.5	1,148	6.3
5回	483	5.3	535	5.4	1,018	5.4	416	4.6	443	4.9	859	4.7
6－9回	1,250	13.7	1,359	13.8	2,609	13.7	1,165	12.9	1,201	13.2	2,366	13.0
10－14回	1,064	11.6	1,274	12.9	2,338	12.3	1,083	12.0	1,222	13.4	2,305	12.7
15－19回	644	7.0	743	7.5	1,387	7.3	556	6.2	640	7.0	1,196	6.6
20－24回	261	2.9	256	2.6	517	2.7	241	2.7	197	2.2	438	2.4
25－29回	116	1.3	84	0.9	200	1.1	106	1.2	79	0.9	185	1.0
30回以上	88	1.0	56	0.6	144	0.8	75	0.8	45	0.5	120	0.7
合 計	9,148	100	9,845	100	18,993	100	9,017	100	9,121	100	18,138	100

- 1) 2021年度（第6期）の初回受診の全体人数は前年度に比べ953人減少したものの、受診回数2回以上の受診者数は増加した。
- 2) 2021年度（第6期）は前年度に比べ、受診回数2回については384人増加（男性247人、女性137人）、また3回－9回についても1,082人増加（男性443人、女性639人）、また10回－29回は318人増加（男性99人、女性219人）、30回以上は24人増加（男性13人、女性11人）であった。

5. 契約健保・団体、一般の個人からの受診状況

表5は、契約健康保険組合と事業所団体（健保・団体）、協会けんぽ、ならびに個人（一般・個人）の受診状況を示したものである。

【表5】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の性・契約（一般・団体）別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2021年度（第6期）						2020年度（第5期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
新宿区民健診	2	0.0	60	0.6	62	0.3	0	0.0	72	0.8	72	0.4
MYヘルス倶楽部	254	2.8	299	3.0	553	2.9	216	2.4	223	2.4	439	2.4
協会けんぽ	1,216	13.3	1,061	10.8	2,277	12.0	964	10.7	965	10.6	1,929	10.6
一般・個人	25	0.3	97	1.0	122	0.6	12	0.1	91	1.0	103	0.6
健保・団体	7,651	83.6	8,328	84.6	15,979	84.1	7,825	86.8	7,770	85.2	15,595	86.0
合 計	9,148	100	9,845	100	18,993	100	9,017	100	9,121	100	18,138	100

- 1) 「MYヘルス倶楽部」の2021年度（第6期）の受診者数については553人で前年度より114人増加した。MYヘルス倶楽部対象者は主に高齢者が多いこともあり、前年度は新型コロナウイルス感染症対策による出控えが受診予約に影響したが、2021年度はコロナ禍であっても当健診センターの感染予防対策に万全を期すなか、受診者数が増加した。
- 2) 「協会けんぽ」の2021年度（第6期）受診者は、新規団体が11団体増えたことにより、受診者割合が12.0％と前年度より1.4％増加し、受診者数も348人増加した。
- 3) 契約健康保険組合・事業所団体（「健保・団体」）の2021年度（第6期）の受診者割合は84.1％と前年度に比べ1.9％減少したものの、受診者数は384人増加した。

6. 性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査の受診状況

表6は、性・年齢階級別の腹部超音波、上部消化管X線、上部消化管内視鏡による各検査の受診者数とその割合を示したものである。

【表6】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の性・年齢階級別
腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査受診状況

（男性）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2021年度（第6期）						受診者数	2020年度（第5期）					
		腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,052	29	2.8	21	2.0	7	0.7	997	33	3.3	19	1.9	7	0.7
30－39歳	1,581	695	44.0	657	41.6	213	13.5	1,499	695	46.4	661	44.1	197	13.1
40－49歳	2,531	2,177	86.0	1,552	61.3	752	29.7	2,681	2,303	85.9	1,761	65.7	661	24.7
50－59歳	2,419	2,198	90.9	1,443	59.7	768	31.7	2,412	2,183	90.5	1,475	61.2	712	29.5
60－69歳	1,190	1,070	89.9	586	49.2	444	37.3	1,122	1,022	91.1	591	52.7	411	36.6
70歳以上	375	355	94.7	120	32.0	161	42.9	306	293	95.8	101	33.0	133	43.5
合 計	9,148	6,524	71.3	4,379	47.9	2,345	25.6	9,017	6,529	72.4	4,608	51.1	2,121	23.5

（女性）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2021年度（第6期）						受診者数	2020年度（第5期）					
		腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,030	38	3.7	18	1.7	11	1.1	965	40	4.1	20	2.1	8	0.8
30－39歳	1,716	727	42.4	508	29.6	237	13.8	1,557	659	42.3	504	32.4	218	14.0
40－49歳	2,686	2,076	77.3	1,256	46.8	752	28.0	2,569	2,012	78.3	1,306	50.8	660	25.7
50－59歳	2,794	2,267	81.1	1,268	45.4	788	28.2	2,590	2,071	80.0	1,243	48.0	655	25.3
60－69歳	1,251	1,049	83.9	501	40.0	369	29.5	1,130	922	81.6	468	41.4	309	27.3
70歳以上	368	335	91.0	132	35.9	111	30.2	310	284	91.6	112	36.1	91	29.4
合 計	9,845	6,492	65.9	3,683	37.4	2,268	23.0	9,121	5,988	65.7	3,653	40.1	1,941	21.3

- 1）2021年度（第6期）の腹部超音波検査の実施率については、男性が71.3％と前年度に比べ1.1％減少する一方、女性は65.9％と前年度に比べ0.2％増加した。
腹部超音波検査については34歳以下の定期健康診断の基本項目に含まれないことから、オプション検査として実施できるよう対応した1年目であり、また前年度に比べて女性の増加が顕著となっている。
- 2）2021年度（第6期）の上部消化管X線検査は、2020年度（第5期）に比べて、男性の受診者が229人減少する一方、女性については30人増加した。
- 3）上部消化管内視鏡検査については、男性・女性とも、とくに40歳以上の受診者が前年度より増加している。

7. 女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況

表7は、女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況ならびに乳房検診におけるエコー（超音波）とマンモグラフィの受診者数と実施率を示したものである。

【表7】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の年齢階級別婦人科検診・乳房検診受診状況

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2021年度（第6期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,030	237	23.0	241	23.4	238	23.1	6	0.6
30－39歳	1,716	883	51.5	1,091	63.6	986	57.5	204	11.9
40－49歳	2,686	1,825	67.9	2,136	79.5	1,204	44.8	1,385	51.6
50－59歳	2,794	1,832	65.6	2,115	75.7	1,008	36.1	1,495	53.5
60－69歳	1,251	803	64.2	955	76.3	424	33.9	658	52.6
70歳以上	368	230	62.5	277	75.3	129	35.1	182	49.5
合 計	9,845	5,810	59.0	6,815	69.2	3,989	40.5	3,930	39.9

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2020年度（第5期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	965	217	22.5	186	19.3	183	19.0	8	0.8
30－39歳	1,557	818	52.5	1,004	64.5	924	59.3	148	9.5
40－49歳	2,569	1,744	67.9	2,037	79.3	1,153	44.9	1,278	49.7
50－59歳	2,590	1,678	64.8	1,960	75.7	919	35.5	1,360	52.5
60－69歳	1,130	722	63.9	856	75.8	359	31.8	601	53.2
70歳以上	310	194	62.6	237	76.5	111	35.8	155	50.0
合 計	9,121	5,373	58.9	6,280	68.9	3,649	40.0	3,550	38.9

1) 受診者数が最も多かった年齢階級は、50－59歳であった。

2) 乳房検診では、エコーの実施率は30－39歳が最も高かった（57.5%）。

40歳以上の受診者にはマンモグラフィを勧奨していることもあり、40歳以上の年齢階級では、マンモグラフィの実施率がエコーの実施率を上回った。

8. 性・検査対象疾患別の判定結果

表8は、人間ドック学会統計に準じて検査対象疾患別の判定結果を男女別に示したものである。
なお、判定は人間ドック学会の判定基準に準拠した。

C : 生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D 2 : 精密検査が必要

D 1 : 治療が必要

E : 継続治療

【表 8】 2021 年度（第 6 期）・2020 年度（第 5 期）の性・検査対象疾患別判定結果

（単位：％〈小数点第 2 位四捨五入〉）

疾 患 名	検査方法	性別	2021 年度（第 6 期）				2020 年度（第 5 期）			
			判 定 区 分（占率）				判 定 区 分（占率）			
			C	D 1	D 2	E	C	D 1	D 2	E
肥 満（過 体 重）	身 体 測 定	男	30.3	0.0	0.0	0.0	30.9	0.0	0.0	0.0
		女	16.2	0.0	0.0	0.0	16.2	0.0	0.0	0.0
呼 吸 器 疾 患	胸 部 X 線	男	2.2	0.0	0.7	0.1	2.1	0.0	1.0	0.1
		女	2.0	0.0	0.8	0.2	1.7	0.0	1.1	0.1
高 血 圧	血 圧 測 定	男	8.3	2.3	0.0	15.2	8.9	2.1	0.0	14.2
		女	4.2	0.9	0.0	8.3	4.0	0.7	0.0	8.1
高コレステロール	血 液 生 化 学	男	25.3	4.6	0.0	0.0	25.3	5.1	0.0	0.0
		女	20.7	3.6	0.0	0.0	19.9	3.6	0.0	0.0
高 中 性 脂 肪	血 液 生 化 学	男	1.4	0.2	0.0	0.0	1.9	0.2	0.0	0.0
		女	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
高 尿 酸	血 液 生 化 学	男	4.2	1.3	0.0	7.6	4.4	1.4	0.0	7.0
		女	0.4	0.1	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.2
心 電 図 異 常	心 電 図	男	8.3	0.0	0.9	0.6	8.4	0.0	0.9	0.6
		女	6.3	0.0	0.5	0.2	6.5	0.0	0.6	0.2
食 道 疾 患	胃 部 X 線	男	18.9	0.1	0.4	0.0	17.1	0.1	0.6	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	10.6	0.0	0.5	0.0	10.0	0.0	0.5	0.0
胃 疾 患	胃 部 X 線	男	32.4	0.1	1.0	0.0	33.5	0.0	1.4	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	37.4	0.1	1.0	0.0	36.1	0.1	1.0	0.0
十 二 指 腸 疾 患	胃 部 X 線	男	3.3	0.1	0.1	0.0	3.8	0.0	0.1	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	1.1	0.1	0.1	0.0	1.3	0.1	0.1	0.0
胆石・胆のうポリープ	腹 部 超 音 波	男	30.8	0.0	1.4	0.0	29.1	0.0	1.7	0.0
		女	21.6	0.0	1.2	0.0	20.7	0.0	1.1	0.0
肝 機 能 障 害 （ 脂 肪 肝 含 む ）	血 液 生 化 学	男	38.3	0.0	5.1	0.4	39.1	0.0	5.4	0.4
	腹 部 超 音 波	女	13.8	0.0	1.0	0.3	13.4	0.0	1.0	0.3
糖 尿 病 （ 耐 糖 能 障 害 ）	血 液 生 化 学	男	10.7	3.4	0.1	5.0	11.4	3.3	0.2	5.1
		女	6.9	1.0	0.1	2.0	8.9	1.1	0.3	1.8
血 液 疾 患	血 液 生 化 学	男	9.7	0.0	3.3	0.1	9.2	0.0	4.1	0.1
		女	17.8	0.0	3.9	0.9	17.2	0.0	4.3	0.9
肛 門 ・ 大 腸 疾 患	便 潜 血 反 応	男	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
		女	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
前 立 腺 疾 患	P S A 検 査	男	0.0	0.0	4.5	0.1	0.0	0.0	4.8	0.0
		女	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
婦 人 科	婦 人 科	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女	19.3	1.2	4.0	1.7	17.7	0.8	4.2	1.6
乳 房 疾 患	触 診 ・ エ コ ー	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	マンモグラフィ	女	5.6	0.0	1.0	0.0	7.0	0.0	1.0	0.0
その他の疾患		男	29.1	0.0	7.9	2.3	28.1	0.0	8.4	2.1
		女	24.9	0.0	6.7	2.0	24.2	0.0	5.8	1.5

- 1）2021 年度（第 6 期）の検査対象疾患別の判定結果で「要精密検査（D 2）」と判定された割合が高い疾患は、男性では肛門・大腸疾患、肝機能障害（脂肪肝含む）、前立腺疾患、女性では肛門・大腸疾患、婦人科、血液疾患であった。
- 2）「生活習慣の改善ならびに経過観察が必要（C）」と判定された割合が高い疾患は、男性では、肝機能障害（脂肪肝含む）、胃疾患、胆石・胆のうポリープ、肥満（過体重）、高コレステロール、女性では、胃疾患、胆石・胆のうポリープ、高コレステロール、婦人科、血液疾患であった。

Ⅱ. 特定健診・特定保健指導・保健指導実施状況

2021年度（第6期）は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の期間が長く、対面での保健指導も選択制にして実施した。運用期間中の実施率向上に向けたセンター全体の取組みにより、前年度に比べ2,483人増加し3,718人と2020年度に比べ3倍の水準となったものの、コロナ禍以前の2019年度に比べると、3分の2の水準に留まっている。

感染対策を引き続き実施し、ポイントを押さえたアドバイスやパンフレットを用いての短時間の面談により、満足率を上げる努力を行なった。

また、第62回人間ドック学会において、「人間ドックにおける保健指導（食事・運動）の効果について」の研究発表を行なった。受診者へのアドバイスの効果を次年度の保健指導時に評価した。これにより、今後も生活に結びつく実践的な指導や行動変容に繋がる指導の重要性を改めて認識した。

特定保健指導の実施者数は、2020年度とほぼ同数の実績であった。社会的にもリモートワークが仕事のベースとなり、特定保健指導対象者は増えたが、実際の特保受診者には繋がらなかった。外出する機会も減るため、運用方法をデジタル化へ進めていく必要がある。また、健診当日に初回面接を希望する健保も増えているため、そのニーズに合わせた組織の在り方を検討していく。

【表9】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の特定健診受診状況

	2021年度（第6期）			2020年度（第5期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
特定健診受診者数	8,055	8,446	16,501	9,017	9,120	18,137

【表10】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の特定保健指導実施状況

	2021年度（第6期）			2020年度（第5期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
動機づけ	4	2	6	7	0	7
積極的	3	2	5	5	1	6
合計	7	4	11	12	1	13

【表11】2021年度（第6期）・2020年度（第5期）の保健指導実施状況

	2021年度（第6期）			2020年度（第5期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
保健指導	1,964	1,754	3,718	595	640	1,235

Ⅲ. 調査研究・普及啓発活動

人間ドック等から得られるデータに基づき、公衆衛生の向上に資する調査研究および知見の普及啓発に取り組んだ。実施状況は下表のとおり。

1. 論文、報告書、出版物などの報告・発行

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行年
Tsunoda K., Kitano N., Kai Y., Jindo T., Uchida K., Arai T.	Dose-response relationships of accelerometer-measured sedentary behavior and physical activity with non-alcoholic fatty liver disease	Alimentary Pharmacology & Therapeutics 54(10), 1330-1339 (2021)
Tsunoda K., Kitano N., Kai Y., Jindo T., Uchida K., Arai T.	Editorial: twenty minutes of moderate-to-vigorous physical activity a day keeps the nonalcoholic fatty liver disease away- authors' reply	Alimentary Pharmacology and Therapeutics 55(1), 118-119 (2022)
櫻井 健一、内田 賢、 鈴木 周平、君塚 圭、 和田 高士、足立 雅樹	乳房検診判定マニュアル	日本人間ドック学会 健診判定・ 指導マニュアル作成委員会 乳房ワーキンググループ (2022)
内田 賢	新型コロナウイルスの抗体価	健康づくりウォッチ2021 24-25 (2022)
進藤 仁	魚を食べてビタミンDを増やそう	健康づくりウォッチ2021 26-27 (2022)

2. 学会・研究会の発表

著 者 名	題 名	学会・研究会・開催地・月	掲載誌名・発行年
Uchida K., Ohashi H., Nogi H.	Breast cancer incidence rates in Japan showed unimodal age distribution	San Antonio Breast Cancer Symposium San Antonio Dec.	Cancer Research 82(4_Supplement) :P3-12-33-P3-12-33 DOI:10.1158/1538-7445.SABCS 21-P3-12-33 (2021)
米澤 裕子、江夏 直子、 井上 果菜子、進藤 仁、 山下 陽子、中田 希代子、 内田 賢	人間ドックにおける保健指導（食事・運動）の効果について	第62回日本人間ドック学会 (WEB)	第62回日本人間ドック学会抄録 (2021)

3. 講演会等

年	月	演者	題名	主催	対象者
2022	2	内田 賢	健診 —病気の発見から予防へ—	明治安田生命保険相互会社 保険金部	職員

4. ホームページによる健康情報発信

健康のひけつ

No.	年	月	題名	執筆者名
36	2021	7	大人の賢い間食のコツ	管理栄養士 健康運動指導士 江夏 直子
37	2021	8	落ち着く「呼吸法」	保健師 米澤 裕子
38	2021	8	リフレッシュにセルフマッサージ	あん摩マッサージ指圧師 原 悠樹
39	2021	9	女性の骨密度の経年変化について	診療放射線グループ
40	2021	10	最近の高血圧事情2021	医師 中田 希代子
41	2022	1	聴力検査ってどんな検査？	臨床検査技師 小曳 彩

2. 健康増進支援事業

1. 健康情報の普及啓発

(1) 健康増進セミナー

科学的根拠に基づいた健康情報の普及啓発活動として、健康増進セミナーを実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

実施実績*	実施形式	
	明治安田生命グループ向け	社外向け
59回	39回	20回

※ 地方創生・健康経営を除く

(2) 健康経営の普及啓発・活動支援

健康経営の各種認定取得、講演の実施、他社支援等、幅広く実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

①当財団の健康経営等認定状況

No.	年度目標（認定団体）	認定日
1	東京都スポーツ推進企業（東京都）	2021年12月1日
2	健康優良企業（金の認定） （健康保険組合連合会東京支部）	2021年12月23日
3	スポーツエールカンパニー （スポーツ庁）	2022年1月26日
4	健康経営優良法人 （経済産業省・日本健康会議）	2022年3月9日（ブライト500取得）

②健康経営セミナー

実施実績	実施形式
19回	対面型：7回，Web：12回

③健康経営支援（コンテンツ提供・コンサルタント・申請支援）

認定制度		支援企業数
健康優良企業	銀の認定	1社
健康経営優良法人	大規模法人部門	5社
	中小規模法人部門	2社

(3) 地方創生支援

自治体等と連携し各地で講演・支援を実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

①自治体と連携した事業

実施実績	開催地
20回 (対面：18, web：2)	大網白里市（3・千葉）・坂戸市（埼玉）・滑川市（富山）・鶴ヶ島市（埼玉）・ 四条畷市（大阪）・練馬区（2・東京）・野田市（千葉）・袖ヶ浦市（千葉）・ 行田市（3・埼玉）・八千代市（千葉）・栗東市（滋賀）・小鹿野町（2・埼玉）・ 東久留米市（東京）・柳井市（山口）

②公民館と連携した事業

実施実績	開催地
4回	相馬市中央公民館（相馬市）・君津市松丘コミュニティセンター（君津市）・ いわき市草野公民館（いわき市）・真岡市公民館（真岡市）

(4) 体力測定等イベント実施

実施実績	開催地
24回	鶴ヶ島市（2）・東松山市（2）・相馬市・滑川市・いわき市・坂戸市（2）・ 中野区（2）・練馬区（2）・北上市・行田市・和歌山県（9）

2. 調査研究活動

(1) 出版物などの報告・発行

No.	題名	連携先・発行元
1	健康知識テキスト2021	明治安田生命保険相互会社 営業教育部
2	明治安田健康経営認定支援サービス GUIDE BOOK	明治安田生命保険相互会社 地域リレーション推進部
3	明治安田健康経営認定支援サービス 「健康優良企業（銀の認定）」版GUIDE BOOK	

(2) 健康情報誌の出版・寄稿

①明治安田生命職員用冊子「まなび！（健活サポーターのための健康プチ知識）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2021	4	高血圧と運動習慣	宇野 真里子
2	2021	5	たばこは百害あって一利なし。禁煙への第一歩へ！	河原 賢二
3	2021	6	生活習慣病の基本	中村 有里
4	2021	7	生活習慣病と重症化予防	加藤 明恵
5	2021	8	健康づくりサポートの留意点	本田 有子
6	2021	9	認知症の黄色信号！“MCI（軽度認知障害）”	河原 賢二
7	2021	10	健康づくりのための「食事」	鶴田 愛
8	2021	11	セルフマッサージで体調を整えよう	原 悠樹
9	2021	12	「血糖値スパイク」をご存じですか！？	本田 有子
10	2022	1	血糖値を上手にコントロールする方法	桂 久美子
11	2022	2	ストレスとの上手な付き合い方 ～マインドフルネス（知識編）～	宇野 真里子
12	2022	3	ストレスとの上手な付き合い方 ～マインドフルネス（実践編）～	宇野 真里子

②明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康あれこれ）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2021	5	健診をきっかけに健康について考える	西村 裕介
2	2021	8	日常生活の「水分補給」を見直そう！	小川 将司
3	2021	10	毎日の“食”を見直してみよう！	桂 久美子
4	2021	12	健康のための睡眠対策を考えよう！	小川 将司
5	2022	1	「朝食」習慣で整えるココロとカラダ	鶴田 愛

③明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康倶楽部）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2021	5	座りすぎと幸福感	甲斐 裕子
2	2021	8	肩こり予防エクササイズ	宇野 真里子
3	2021	10	簡単ツボマッサージ	原 悠樹
4	2021	12	ウォーキングの“質”に注目	河原 賢二
5	2022	1	長引く・繰り返す腰の張り対策	西村 裕介

④明治安田生命安心お届け資料「健康News」

No.	題名	著者名
1	テレワークにおける快適な作業環境のちょっとした工夫	西村 裕介
2	コロナ禍における運動機会の創出	小川 将司
3	感染症対策と食事	本田 有子 西村 裕介
4	オフィスで！テレワークで！簡単にできる、眼精疲労の対策	原 悠樹
5	メンタルヘルスのセルフケアについて	西村 裕介
6	働くみなさまへ「昼寝のすゝめ」	西村 裕介
7	With コロナにおける入眠対策	原 悠樹
8	あなたの自宅やオフィスがジムになる!? ～どこでもできるエクササイズ～	小川 将司
9	歩き方を変えて消費エネルギーアップ！	原 悠樹
10	忙しいときのコンビニ活用術！	桂 久美子
11	ハンドマッサージのすゝめ	原 悠樹
12	新生活の変化を乗り切ろう！ ～リフレッシュするための生活の工夫～	小川 将司

⑤明治安田厚生事業団 健康づくりウォッチ

No.	題名	著者名
1	姿勢を直すと腰痛予防になる？	西村 裕介
2	ツボ押しで、快適生活を	原 悠樹

⑥明治安田生命MY ポケット向け動画

No.	題名
1	デスクワーク中心の方向け 肩こり・腰痛・目の疲れの予防
2	立ち仕事中心の方向け 腰・足の疲労、足のむくみの予防
3	夜勤業務の方向け 睡眠の質を改善する方法
4	ものづくり系の仕事向け 労働による疲労を軽減するためのアクティブレスト
5	デスクワーク中心の方向け 座りすぎ・運動不足の健康問題 メタボリックシンドロームや糖尿病について
6	お客さまとの接点を持つ方向け 接客等による精神的なストレスへの対策
7	夜勤・交代制勤務の方向け メンタルヘルスに対するセルフケアについて
8	ものづくり系の仕事向け 肥満・高血圧対策に向けたランチメニューの選び方
9	デスクワーク中心の方向け 座りすぎ・運動不足の健康問題 メンタルヘルスのセルフケアについて
10	お客さまとの接点を持つ方向け 不規則な生活下における食習慣への対策
11	夜勤・交代制勤務の方向け 夜勤・交代制勤務時における食事のコツ
12	ものづくり系の仕事向け 転倒予防のためのセルフケア

⑦明治安田健康経営認定支援サービス VOD

No.	題名
1	認定支援サービス VOD・パート1 中小企業等への健康経営支援のご説明
2	認定支援サービス（全国版）VOD・パート2 サービスの全体像・活用の流れ
3	認定支援サービス（銀の認定版）VOD・パート2' サービスの全体像・活用の流れ
4	認定支援サービス（全国版）VOD・パート3 経営者サポートプログラム
5	認定支援サービス（銀の認定版）VOD・パート3' 経営者サポートプログラム
6	認定支援サービス（全国版）VOD・パート4 健康づくり担当者サポートプログラム
7	認定支援サービス（銀の認定版）VOD・パート4' 健康づくり担当者サポートプログラム
8	認定支援サービス（全国版）VOD・パート5 従業員サポートプログラム
9	認定支援サービス（銀の認定版）VOD・パート5' 従業員サポートプログラム
10	認定支援サービス（全国版）VOD・パート6 「健康経営優良法人2022」の申請方法について
11	認定支援サービス（銀の認定版）VOD・パート6' 「健康企業宣言」への応募・「健康優良企業（銀の認定）」の申請方法について
12	認定支援サービス（全国版）VOD・パート7 「健康経営優良法人2022」について

⑧明治安田生命グループ従業員向け動画コンテンツ「MY 健康チャンネル」

No.	題名
1	2021年「健康チャレンジ！キャンペーン」がはじまる
2	目標の歩数を決める
3	MYログ新機能発表！
4	MYウォーキングマンは知っている、歩いても痩せない理由
5	出役！MY健康チャンネル 【特別回】 4月好事例 川崎支社川崎駅前営業部
6	MY健康ニュース 特集「健診直前対策」
7	あゆむ、階段チャレンジャーになる
8	出役！MY健康チャンネル 【特別回】 5月好事例 団体年金サービス部
9	知ってた!?健康習慣の機能使えるかも
10	MYウォーキングマン直伝！体重チェックのコツ
11	出役！MY健康チャンネル 【特別回】 6月好事例 明治安田生命健康保険組合
12	MYログ新機能発表②
13	基礎代謝へのしくみを理解、減量への道（+ごはんコンテストPR）
14	出役！MY健康チャンネル 【特別回】 7月好事例 釧路支社
15	メンタルヘルス 簡単なセルフケアを身につける
16	出役！MY健康チャンネル 【特別回】 8月好事例 総合法人第五部
17	生活習慣と食事
18	生活習慣と睡眠・喫煙・飲酒
19	出役！MY健康チャンネル 【特別回】 9月好事例 保険金部
20	生活習慣と運動
21	年末年始、お休み期間中でもできるコト
22	健活週間がはじまります！
23	健活週間がはじまります！（後半）
24	健活2大ツールについて周知徹底
25	MY健活ごはんコンテスト結果発表
26	2021年度総括+次年度について（健康年齢）
27	健康年齢PR

⑨明治安田生命グループ従業員向けコンテンツ「MY チーム公式食事改善プログラム」

No.	題名
1	ファストフードのアレコレ
1)	ファストフードとは？
2)	ファストフードの特徴
3)	ファストフードのエネルギー比較
4)	1日の食事の目安を知ろう！
5)	ハンバーガーショップでは特に脂質の摂りすぎに注意！
6)	丼ぶり屋ではご飯の食べすぎに注意！
7)	寿司屋ではご飯の食べすぎに注意！
8)	ファストフードを食べる際のポイント
9)	ファストフードは+副菜でバランスアップ！
10)	ファストフード回避可能なトラップあれこれ
2	間食のアレコレ
1)	食事（朝・昼・夕）以外に摂取するエネルギー源となる食べ物と飲み物
2)	なぜ間食するの？
3)	間食のエネルギー比較
4)	間食を食べすぎると・・・
5)	間食を我慢したいときには・・・
6)	どうしても食べたい・・・！と思った時は
7)	間食の選び方のヒント「何を食べるか」編
8)	間食の選び方のヒント「どれくらい？」編
9)	間食の選び方のヒント「タイミングは？」編
3	食べることのアレコレ
1)	食事バランスガイドで食生活を見直そう
2)	1日に何を・どれだけ食べればOK?を知る
3)	グループ別、過不足しがちな食べ物
4)	“朝食”習慣を見直そう ～メリットとデメリット編～
5)	“朝食”習慣を見直そう ～継続のためのヒント編～
6)	“飲み物”を見直そう ～選び方のヒント編～
7)	“飲み物”を見直そう ～エネルギー比較編～
8)	“飲み物”を見直そう ～減酒チャレンジ編～

No.	題名
9)	“酒肴”について考える ～飲み物を見直す 番外編～
10)	話題のダイエット食材について考える 気になる食べ物をご紹介
11)	話題のダイエット食材について考える ～オートミール編～
12)	話題のダイエット食材について考える ～鯖缶編～
13)	話題のダイエット食材について考える ～プロテイン訴求商品編～
14)	話題のダイエット食材について考える ～上手な取り入れ方編～

⑩明治安田生命 おうちで健活動画（監修）

	題名
	ゴールゲッター武田 打倒！不健康FC
1)	第1話 立ちはだかる不健康三連星
2)	第2話 サイレントキラー・血圧
3)	第3話 こってりした強敵！中性脂肪出現
4)	第4話 しのび寄る甘い罠！糖、襲来
5)	第5話 一番のリスクは「知らない」こと
6)	第6話 塩分は控えめにとって、どれくらい？
7)	第7話 これなら続く！脂肪燃焼
8)	第8話 糖、撃破。グッバイ不健康

⑪明治安田生命 支社・本部向け動画作成

No.	題名
1	初心者でもできる ココロとカラダの調子を整えるリラックスヨガ ～ヨガ教室～
2	～今から、健康対策～ 生活習慣病予防セミナー
3	～“未来の自分”のためにできること～ 「認知症について考える」セミナー

⑫法人・団体からの依頼に基づく動画コンテンツ（DVD・VOD）

No.	種別	題名
1	企業	健康増進セミナー（あなたの食事習慣は大丈夫？ ～食から改善する健康～）
2	健保組合	健康増進セミナー（こころのメンテナンス）
3	企業	明治安田生命×Jリーグ #命をつなぐアクションスペシャルムービー AEDについて学ぼう！

(3) メディア掲載

科学的根拠に基づいた健康情報を普及啓発するため、広報活動を実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

No.	年	月	媒体	掲載（番組）タイトル
1	2021	4	雑誌	“ナッジ” でピンチをチャンスに！運動も防疫も楽しんで目指す「働くと気づけば健康になれる職場」
2	2021	12	Web	FCNTとSEGA XDが健康寿命延伸啓発イベント「健康寿命延伸のすすめ」でジョイント！
3	2022	3	Web	JAF東京、健康考えるオンラインセミナー開催
4	2022	3	Web	令和3年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

Ⅲ．理事会に関する事項

みなし決議に関する理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 理事会の決議があったものとみなされた日
2021年4月1日
2. 評議員の決議があったものとみなされた事項の提案者
理事長 中熊 一仁
3. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 理事長（代表理事）選定の件
4. 理事総数 3名
 監事総数 1名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
 理事 今泉 宏久

理事長中熊一仁が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2021年4月1日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

定時理事会議事録（Web開催）

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2021年5月31日（月）午後1時50分、理事3名は東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル、田口監事は東京都千代田区丸の内2-1-1、明治安田生命本社ビルにて、WEBシステム（Teams）を利用し開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 第5期計算書類等承認の件
- 第2号議案 定時評議員会みなし決議の件
- 第3号議案 人権方針制定の件
- 第4号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改正の件

報告事項

- 第1号報告 2020年度経営計画進捗状況報告について（内部管理を含む）

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3人
- (2) 出席理事数 3人

出席理事	今泉 宏久氏、内田 賢氏、森田 健氏
出席監事	田口 寛氏

1. 開会に先立ち、森田事務局長より、現在の総理事数3人のうち、本日の出席は3人であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長今泉宏久氏は、定款第32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣したのち、定款第34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、理事長および監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第1号議案「第5期計算書類等承認の件」を上議し、森田理事が別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、別紙のとおり可決された。
4. 議長は、第2号議案「定時評議員会みなし決議の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、別紙のとおり可決された。
5. 議長は、第3号議案「人権方針制定の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、別紙のとおり可決された。
6. 議長は、第4号議案「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改正の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、別紙のとおり可決された。
7. 議長は、第1号報告「2020年度経営計画進捗状況報告について（内部管理を含む）」を上議し、森田理事が別紙資料を用い報告した。田口監事から、健診単価低下の理由と新年度予約状況について質問がなされ、森田理事が回答した。

以上をもって議事を終了したので、午後2時10分、議長は閉会を宣言した。

定時理事会議事録（Web開催）

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2022年3月18日（金）午前10時30分、理事3名は東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル、田口監事は東京都千代田区丸の内2-1-1、明治安田生命本社ビルにて、WEBシステム（Teams）を利用し開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 2022年度（第7期）事業計画・収支予算の件
- 第2号議案 監事候補者1名選出の件
- 第3号議案 評議員会（書面開催）の件
- 第4号議案 財団移転について
- 第5号議案 財団ビジョン改正の件
- 第6号議案 環境方針制定の件
- 第7号議案 個人情報保護方針改正の件

報告事項

- 第1号報告 2021年度（第6期）職務執行状況報告の件
- 第2号報告 監事1名退任の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、内田 賢氏、森田 健氏
出席監事	田口 寛氏

1. 開会に先立ち、森田理事より、現在の総理事数3名のうち、本日の出席は3名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 代表理事今泉宏久氏は、定款第32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣したのち、定款第34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、代表理事および監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第1号議案「2022年度（第7期）事業計画・収支予算の件」を上議し、資料を用い説明した。田口監事から明治安田生命2大プロジェクトへの当財団の貢献に強い期待が示された。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
4. 議長は、第2号議案「監事候補者1名選出の件」を上議し、資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
5. 議長は、第3号議案「評議員会（書面開催）の件」を上議し、資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
6. 議長は、第4号議案「財団移転について」を上議し、森田理事が資料を用い説明した。内田理事から健診者数は通増しているが、賃料等の負担も増加するため、対策を十分検討願いたいとの意見がなされた。
田口監事から賃借料も増えるが面積も広くなるため、増収策の検討にあたり、関連事業部も積極的に協力する旨の発言があった。
議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
7. 議長は、第5号議案「財団ビジョン改正の件」を上議し、資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
8. 議長は、第6号議案「環境方針制定の件」を上議し、資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
9. 議長は、第7号議案「個人情報保護方針改正の件」を上議し、資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、資料のとおり可決された。
10. 議長は、第1号報告「2021年度（第6期）職務執行状況報告の件」を上議し、森田理事が別紙資料を用い報告した。田口監事からドック受診者占率が低下している中で健診事業の売上が増加しているのは、ドック以外の健診の貢献度が高いのかと質問がなされ、森田理事がドック占有率の低下により単価は逆に下がっているが、受診者数増加がそれらを上回る成果を残している旨を回答した。
11. 議長は、第2号報告「監事1名退任の件」を上議し、資料を用い報告した。

以上をもって議事を終了したので、午前11時05分、議長は閉会を宣言した。

みなし決議に関する理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 理事会の決議があったものとみなされた日
2022年3月30日
2. 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者
代表理事 今泉 宏久
3. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 財団移転に伴う建物賃貸借契約締結の件（案）
契約内容は別添資料のとおりとすること
4. 理事総数 3名
監事総数 1名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
代表理事 今泉 宏久

2022年3月18日、代表理事今泉宏久が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2022年3月30日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

IV. 評議員会に関する事項

みなし決議に関する評議員会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 評議員会の決議があったものとみなされた日
2021年6月16日
2. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者
理事長 今泉 宏久
3. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 第5期計算書類等承認の件
第2号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改正の件
4. 評議員総数 4名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
理事長 今泉 宏久

2021年6月4日、理事長今泉宏久が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2021年6月15日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条（定款第19条第4項）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされた。

みなし決議に関する評議員会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 評議員会の決議があったものとみなされた日
2022年3月28日
2. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者
代表理事 今泉 宏久
3. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 監事1名選任の件（別紙 第1号議案のとおり）
4. 評議員総数 4名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
代表理事 今泉 宏久

2022年3月18日、代表理事今泉宏久が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2022年3月28日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条（定款第19条第4項）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされた。

V. 寄附に関する事項

第6期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額（円）
2021年5月21日	70,000,000
2022年3月29日	220,000,000

第 6 期 決 算 報 告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

I. 貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	380,691,381	193,471,384	187,219,997
未 収 金	90,545,271	118,728,657	- 28,183,386
前 払 金	8,913,619	8,797,526	116,093
貯 蔵 品	2,505,845	2,289,613	216,232
流 動 資 産 合 計	482,656,116	323,287,180	159,368,936
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,000	3,000,000	0
基 本 財 産 合 計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	42,242,356	47,076,046	- 4,833,690
特 定 資 産 合 計	42,242,356	47,076,046	- 4,833,690
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	22,863,460	26,495,867	- 3,632,407
什 器 備 品	47,519,144	53,030,946	- 5,511,802
ソ フ ト ウ ェ ア	4,020,450	11,225,236	- 7,204,786
その他固定資産合計	74,403,054	90,752,049	- 16,348,995
固 定 資 産 合 計	119,645,410	140,828,095	- 21,182,685
資 産 合 計	602,301,526	464,115,275	138,186,251
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	48,776,858	126,186,381	- 77,409,523
預 り 金	6,067,403	5,587,900	479,503
未 払 法 人 税 等	70,000	24,862,700	- 24,792,700
賞 与 引 当 金	14,806,522	14,320,140	486,382
流 動 負 債 合 計	69,720,783	170,957,121	- 101,236,338
2. 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	42,242,356	47,076,046	- 4,833,690
固 定 負 債 合 計	42,242,356	47,076,046	- 4,833,690
負 債 合 計	111,963,139	218,033,167	- 106,070,028
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指 定 正 味 財 産 合 計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一 般 正 味 財 産 合 計	490,338,387	246,082,108	244,256,279
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正 味 財 産 合 計	490,338,387	246,082,108	244,256,279
負債及び正味財産合計	602,301,526	464,115,275	138,186,251

Ⅱ．正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,159	1,233	926
特定資産受取利息	2,159	1,233	926
事業収益	746,736,371	695,989,032	50,747,339
健診事業収益	686,636,478	651,619,086	35,017,392
業務受託収益	29,863,616	30,653,622	- 790,006
健康支援事業収益	30,236,277	13,716,324	16,519,953
受取寄附金	290,000,000	120,000,000	170,000,000
受取寄附金	290,000,000	120,000,000	170,000,000
雑収益	509,909	27,230,001	- 26,720,092
雑収益	509,909	27,230,001	- 26,720,092
経常収益計	1,037,248,439	843,220,266	194,028,173
(2) 経常費用			
事業費	729,025,901	713,967,975	15,057,926
役員報酬	3,422,696	2,468,160	954,536
給料手当	353,894,533	342,166,779	11,727,754
法定福利費	37,752,574	38,223,013	- 470,439
臨時雇賃金	9,460,744	8,409,419	1,051,325
退職給付費用	8,717,218	7,277,664	1,439,554
福利厚生費	10,750,342	10,729,912	20,430
派遣経費	1,218,000	0	1,218,000
旅費交通費	456,194	446,050	10,144
通信搬費	17,629,559	18,611,650	- 982,091
減価償却費	32,846,901	32,591,245	255,656
消耗什器備品費	2,040,969	2,806,075	- 765,106
消耗品費	26,022,563	26,135,035	- 112,472
修繕費	11,559,338	10,555,673	1,003,665
保守費	6,047,320	4,701,552	1,345,768
印刷製本費	10,892,885	15,154,953	- 4,262,068
研究調査費	856,175	651,191	204,984
光熱水料費	7,626,841	6,891,444	735,397
リース料	5,067,653	4,766,781	300,872
賃借料	89,051,652	86,562,228	2,489,424
不動産管理費	5,629,872	5,471,628	158,244
諸謝金	290,912	190,911	100,001
委託費	72,435,995	70,058,359	2,377,636
業務推進費	9,711,241	12,647,781	- 2,936,540
雑費	5,643,724	6,450,472	- 806,748

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管 理 費	54,505,113	55,655,157	－ 1,150,044
役 員 報 酬	4,004,508	8,317,593	－ 4,313,085
給 料 手 当	30,654,891	24,192,042	6,462,849
法 定 福 利 費	4,274,316	4,140,782	133,534
退 職 給 付 費	61,718	876,067	－ 814,349
福 利 厚 生 費	2,484,961	1,240,712	1,244,249
派 遣 経 費	0	4,116,871	－ 4,116,871
旅 費 交 通 費	100,943	188,690	－ 87,747
会 議 費	29,526	0	29,526
通 信 運 搬 費	－ 761	0	－ 761
減 価 償 却 費	1,239,144	1,044,941	194,203
消 耗 什 器 備 品 費	70,000	0	70,000
消 耗 品 費	103,145	13,848	89,297
修 繕 費	730,700	0	730,700
保 守 費	2,550,867	2,301,934	248,933
印 刷 製 本 費	226,000	229,594	－ 3,594
研 究 一 査 費	3,637	0	3,637
リ ー ス 料	682,824	693,744	－ 10,920
保 険 料	481,710	584,544	－ 102,834
諸 謝 金	2,188,095	1,546,610	641,485
租 税 公 課	32,600	1,143,000	－ 1,110,400
支 払 助 成 金	2,000,000	2,000,000	0
業 務 推 進 費	14,510	4,290	10,220
委 託 費	2,435,271	2,933,999	－ 498,728
雑 費	136,508	85,896	50,612
経常費用計	783,531,014	769,623,132	13,907,882
当 期 経 常 増 減 額	253,717,425	73,597,134	180,120,291
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑 損 失	9,391,146	5,062,670	4,328,476
経常外費用計	9,391,146	5,062,670	4,328,476
当 期 経 常 外 増 減 額	－ 9,391,146	－ 5,062,670	－ 4,328,476
税引前当期一般正味財産増減額	244,326,279	68,534,464	175,791,815
法人税、住民税及び事業税	70,000	24,862,881	－ 24,792,881
当期一般正味財産増減額	244,256,279	43,671,583	200,584,696
一般正味財産期首残高	246,082,108	202,410,525	43,671,583
一般正味財産期末残高	490,338,387	246,082,108	244,256,279
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	490,338,387	246,082,108	244,256,279

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	健康増進 支援事業	健診事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	0	0	2,159	0	2,159
特定資産受取利息	0	0	2,159	0	2,159
事業収益	30,236,277	710,802,204	5,697,890	0	746,736,371
健診事業収益	0	686,636,478	0	0	686,636,478
業務受託収益	0	24,165,726	5,697,890	0	29,863,616
健康支援事業収益	30,236,277	0	0	0	30,236,277
受取寄附金	70,000,000	0	220,000,000	0	290,000,000
受取寄附金	70,000,000	0	220,000,000	0	290,000,000
雑収益	0	115,821	394,088	0	509,909
雑収益	0	115,821	394,088	0	509,909
経常収益計	100,236,277	710,918,025	226,094,137	0	1,037,248,439
(2) 経常費用					
事業費	79,106,833	649,919,068	0	0	729,025,901
役員報酬	2,188,616	1,234,080	0	0	3,422,696
給料手当	47,943,167	305,951,366	0	0	353,894,533
法定福利費	7,744,035	30,008,539	0	0	37,752,574
臨時雇賃金	0	9,460,744	0	0	9,460,744
退職給付費用	72,450	8,644,768	0	0	8,717,218
福利厚生費	1,871,878	8,878,464	0	0	10,750,342
派遣経費	0	1,218,000	0	0	1,218,000
旅費交通費	392,927	63,267	0	0	456,194
通信運搬費	59,129	17,570,430	0	0	17,629,559
減価償却費	1,927,762	30,919,139	0	0	32,846,901
消耗什器備品費	407,298	1,633,671	0	0	2,040,969
消耗品費	895,020	25,127,543	0	0	26,022,563
修繕費	86,250	11,473,088	0	0	11,559,338
保守費	0	6,047,320	0	0	6,047,320
印刷製本費	947,677	9,945,208	0	0	10,892,885
研究調査費	75,182	780,993	0	0	856,175
光熱水料費	0	7,626,841	0	0	7,626,841
リース料	1,503,360	3,564,293	0	0	5,067,653
賃借料	5,652,936	83,398,716	0	0	89,051,652
不動産管理費	354,780	5,275,092	0	0	5,629,872
諸謝金	109,092	181,820	0	0	290,912
委託費	0	72,435,995	0	0	72,435,995
業務推進費	6,863,390	2,847,851	0	0	9,711,241
雑費	11,884	5,631,840	0	0	5,643,724

科 目	健康増進 支援事業	健診事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
管 理 費	0	0	54,505,113	0	54,505,113
役 員 報 酬	0	0	4,004,508	0	4,004,508
給 料 手 当	0	0	30,654,891	0	30,654,891
法 定 福 利 費	0	0	4,274,316	0	4,274,316
退 職 給 付 費 用	0	0	61,718	0	61,718
福 利 厚 生 費	0	0	2,484,961	0	2,484,961
旅 費 交 通 費	0	0	100,943	0	100,943
会 議 費	0	0	29,526	0	29,526
通 信 運 搬 費	0	0	- 761	0	- 761
減 価 償 却 費	0	0	1,239,144	0	1,239,144
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	70,000	0	70,000
消 耗 品 費	0	0	103,145	0	103,145
修 繕 費	0	0	730,700	0	730,700
保 守 費	0	0	2,550,867	0	2,550,867
印 刷 製 本 費	0	0	226,000	0	226,000
研 究 調 査 費	0	0	3,637	0	3,637
リ ー ス 料	0	0	682,824	0	682,824
保 険 料	0	0	481,710	0	481,710
支 払 助 成 金	0	0	2,000,000	0	2,000,000
諸 謝 金	0	0	2,188,095	0	2,188,095
業 務 推 進 費	0	0	14,510	0	14,510
租 税 公 課	0	0	32,600	0	32,600
委 託 費	0	0	2,435,271	0	2,435,271
雑 費	0	0	136,508	0	136,508
経常費用計	79,106,833	649,919,068	54,505,113	0	783,531,014
当 期 経 常 増 減 額	21,129,444	60,998,957	171,589,024	0	253,717,425
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
雑 損 失	0	24	9,391,122	0	9,391,146
経常外費用計	0	24	9,391,122	0	9,391,146
当 期 経 常 外 増 減 額	0	- 24	- 9,391,122	0	- 9,391,146
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	0	- 24	- 9,391,122	0	- 9,391,146
他 会 計 振 替 額	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	21,129,444	60,998,933	162,197,902	0	244,326,279
法人税、住民税及び事業税	0	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	21,129,444	60,998,933	162,127,902	0	244,256,279
一般正味財産期首残高					246,082,108
一般正味財産期末残高					490,338,387
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	0	490,338,387

Ⅲ. 財務諸表に対する注記

1. この財務諸表は「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 令和2年5月15日改正内閣府公益認定等委員会）によって作成されています。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法により期末評価を行なっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっています。

(3) 賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(4) 退職給付引当金の計上基準

退職給付引当金については、次の方法により期末要支給額を計上しています。

(定年退職扱いが適用される55歳到達時以前)

退職金規定に基づく期末要支給額を計上（従来どおり）

(定年退職扱いが適用される55歳到達時以降)

退職金規定に基づく期末要支給額をもとに、55歳到達時から定年（60歳）到達時までの各年度の費用が平準化されるよう引当金を計上

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっています。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、リース会計基準を適用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、下表のとおり。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	47,076,046	8,728,936	13,562,626	42,242,356
小 計	47,076,046	8,728,936	13,562,626	42,242,356
合 計	50,076,046	8,728,936	13,562,626	45,242,356

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、下表のとおり。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	－	(3,000,000)	－
小 計	3,000,000	－	(3,000,000)	－
特定資産				
退職給付引当資産	42,242,356	－	－	(42,242,356)
小 計	42,242,356	－	－	(42,242,356)
合 計	45,242,356	－	(3,000,000)	(42,242,356)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、下表のとおり。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	40,963,703	18,100,243	22,863,460
什器備品	155,995,066	108,475,922	47,519,144
合 計	196,958,769	126,576,165	70,382,604

6. 関連当事者との取引内容

当期は関連当事者である明治安田生命保険相互会社より、財団運営資金として寄附金220,000,000円を、健康増進支援センター運営資金として寄附金70,000,000円を受領しております。

IV. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載のとおりです。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	14,320,140	14,806,522	14,320,140	0	14,806,522
退職給付引当金	47,076,046	8,728,936	13,562,626	0	42,242,356

V. 財産目録

2022 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	891,073
		普通預金	運転資金として	379,800,308
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店	新宿健診センター	370,780,845
		新宿中央支店		1,553,164
		八十二銀行 新宿支店		1,107,796
		広島銀行 東京支店		1,207,132
		静岡銀行 新宿支店		1,498,193
		横浜銀行 新宿支店		13,919
		東日本銀行 新宿支店		534,260
		肥後銀行 東京支店		485,975
		スルガ銀行 東京支店		1,115,107
		山梨中央銀行 新宿支店		440,330
		みずほ銀行 新宿新都心支店		1,063,587
		三井住友銀行 新宿通支店		0
	未収金	健診事業	健診事業に係る未収金	75,914,010
		健康増進支援事業	講演料等未収金	10,596,883
		賃借料未収金	明治安田厚生事業団	4,034,378
	前払金	賃借料等の前払金	明治安田生命保険（相）	8,913,619
	貯蔵品	手元保管	医薬品等の貯蔵品	2,505,845
流動資産合計				482,656,116
(固定資産)				
基本財産	預金	普通預金	最低純資産額の維持・確保を目的とする財産	3,000,000
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店		3,000,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店	退職金支払いの資金として管理されている預金	42,242,356 42,242,356
その他固定資産	建物附属設備 什器備品 ソフトウェア	東京都新宿区西新宿 1-8-3	各事業の用に供している	74,403,054 22,863,460 47,519,144 4,020,450
固定資産合計				119,645,410
資産合計				602,301,526
(流動負債)	未払金 未払金 割賦未払金 未払消費税等	健診機器・システム納入業者に対する未払金等	健診事業の用に供する什器備品・消耗品の購入、外注検査費の未払い分等	48,776,858 19,247,776 10,804,282 18,724,800
	預り金	従業員等からの預り金	従業員等から源泉徴収した社会保険料等の預り金	6,067,403
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員 26 名に対する賞与の支払いに備えたもの	14,806,522
	未払法人税等	未払法人税等	未払法人税等	70,000
流動負債合計				69,720,783
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員 20 名に対する退職金の支払いに備えたもの	42,242,356
固定負債合計				42,242,356
負債合計				111,963,139
正味財産				490,338,387

Ⅵ. 監査報告書

監査報告書

2022年5月16日

一般財団法人 明治安田健康開発財団
理事長 今泉 宏久 殿

監事 石橋 健司 

私は、当財団の2021年4月1日から2022年3月31日までの第6期事業年度の理事の職務執行について監査を行いましたので、一般社団法人および一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法197条において準用する第99条第1項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、第6期理事会資料を精査し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決算書類を閲覧し、当財団の事務所において業務および財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当事業年度に係る事業報告を監査しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 7 期 事 業 計 画

2022年4月1日から2023年3月31日まで

I. 基本方針

第7期（2022年度）は、中期経営計画の中間年度として、新型コロナウイルス蔓延防止対策に引き続き万全を期すとともに、健診センター長交代や財団移転を契機に、デジタル社会への適応強化やお客さま志向の強化を通じ、単年度の業績拡大とともに、次年度以降の新体制基盤を確立する。特に、財団移転に際し、従業員の働きやすさやお客さま満足度向上を図るとともに、生産性向上を通じた収益力強化への取組みを推進し、次世代型の健診センター構築に注力する。

なお、本事業計画は2023年の財団移転に関する資金繰りが具体化する前に策定したため、2022年度上期に修正方針を打ち出し、事業計画の修正について理事会にて再決議する予定である。

1. 人間ドック（健診）事業

新型コロナウイルス感染症の防疫態勢を一層高度化するとともに、健診サービスの質的向上、事務リスク縮減等を通じ、受診者の満足度向上を図り、選ばれ続ける健診センターとして、受診者数、健診収益の増大に取り組む。

健診技術の一層の向上を図るとともに、時勢に即したオプション検査の導入を含め、受診を喚起する諸対策を積極的に進める。

「座り過ぎ」と「活発度」を測定する「MYライフ・ドック®」については、人間ドック（健診）の付加価値向上、健康経営を推進する団体への健康増進支援に取り組み、ブランド化の推進を図る。

2. 健康増進支援事業

明治安田生命グループの「みんなの健活プロジェクト」における健康増進支援に加えて、「地域の元気プロジェクト」に関わるイベント支援等を通じ、健康増進の推進に取り組む。

健康経営に関わる業務では、健康経営優良法人の認定支援や「MYライフ・ドック®」の活用等を通じ、企業・団体の従業員の健康増進をサポートする。

II. 実行計画

1. 人間ドック（健診）事業

人生100年時代を見据え、受診者一人ひとりの「健康増進・健康維持」を応援し、ニューノーマルな環境下においても選ばれ続ける「安心と信頼」の健診センターの運営を推進

(1) 受診者数と健診収益を増大させるための諸対策の実施

- ①新規受診者の獲得へ向け、ホームページの充実やWeb予約の強化を図るとともに、明治安田生命を含む既契約団体のさらなる深耕、新規契約団体の開拓に注力
- ②継続受診率の向上にむけ、特に初回受診者への継続受診を勧奨するとともに、各種データ分析による有効なサービスの提供、前年受診月3ヵ月前の勧奨ハガキの発信、アプリ活用

- 等により、受診勧奨を推進
- ③午後の時間を活用した人間ドックと単科検診（乳ガン検診・婦人科検診）を推進するとともに、協会けんぽの健診受け入れ拡大で、多様な受診者ニーズに対応
- (2) 健診精度の向上および職員のスキルアップの支援
- ①人間ドック健診施設機能評価 Ver.4.0、マンモグラフィ検診施設・画像評価等、健診施設優良認定に向けた取組みを推進
- ②職員のスキルアップのため研修会等への参加奨励と関係資格取得のための支援、および社内研究会・研修会を計画的に実施
- (3) 健康増進・疾病予防に関するアフターフォローの推進
- ①健康診断時におけるリスクスクリーニングによる未病、予防の取組みを推進
- ②健康診断結果に基づく、精密検査・再検査の勧奨や健康情報の提供を目的とした健診結果改善フォローを強化
- ③健康診断の当日結果説明の充実、運動・栄養・医師による保健指導を強化
- ④健康保険組合からの要請に対応できる特定保健指導体制を構築
- (4) 事務リスクの縮減と健診サービスの向上
- ①円滑で効率的な事務運営と事務リスク縮減を図るために運営体制を強化
- ②お客さま満足度の一層の向上に向けた運営を推進
- ③ニューノーマルへの取組みとしてのデジタル化を推進
- (5) 明治安田厚生事業団との調査研究活動の連携による健康増進の推進
- 「MYライフ・ドック[®]」を社内外へ周知し、人間ドックの付加価値向上、健康経営を推進する団体への健康増進支援に取り組むとともにブランド化を推進

2. 健康増進支援事業

明治安田生命の2大プロジェクトである「みんなの健活プロジェクト」・「地元の元気プロジェクト」に対する総合的な指導・支援を通じ、健康長寿社会の形成と生涯現役社会の構築に貢献

- (1) 明治安田生命の「みんなの健活プロジェクト」を支援
- ①全従業員の健康診断結果の改善を含めたヘルスリテラシーの向上
- ②日常生活に即した内容の体験型セミナーの開催
- ③職場の健康づくりプログラムの提供で健活をサポート
- (2) 明治安田生命の「地元の元気プロジェクト」を支援
- ①自治体との連携における健康増進に関するイベント・セミナーなどの支援
- ②道の駅や公民館等新しいアフィニティにおけるサービスの開発と実施
- (3) 健康経営を推進する団体・企業の支援
- ①健康経営優良法人の認定支援を中心とした団体・企業の健康経営を支援
- ②健康経営を支援するためのコンテンツ開発
- (4) 職員のスキルアップの支援
- 上記（1）から（3）を実行するにあたり、科学的根拠に基づいた、効果の高い支援が提供できる人材を育成

Ⅲ. 収支予算書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

(単位：千円)

科 目	収益事業 健診事業	収益事業 健康支援事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0		0
基本財産受取利息	0	0	0		0
特定資産運用益	0	0	0		0
特定資産受取利息	0	0	0		0
事業収益	706,000	44,000	0		750,000
健診事業収入	701,000	0	0		701,000
業務受託収益	5,000	0	0		5,000
健康支援事業収益	0	44,000			44,000
受取寄付金	0	70,000	0		70,000
受取寄附金	0	70,000	0		70,000
雑収益	0	0	0		0
雑収益	0	0	0		0
経常収益計	706,000	114,000	0	0	820,000
(2) 経常費用					
事業費	688,783	87,833			776,616
給料手当	312,975	56,300			369,275
法定福利費	32,390	8,322			40,712
臨時雇賃金	10,000	0			10,000
退職給付費用	8,600	73			8,673
福利厚生費	8,930	501			9,431
派遣費用	3,500	0			3,500
旅費交通費	160	910			1,070
通信運搬費	18,560	85			18,645
減価償却費	30,100	1,750			31,850
消耗什器備品費	2,580	950			3,530
消耗品費	24,810	1,840			26,650
修繕費	10,760	400			11,160
保守費	4,680	0			4,680
印刷製本費	9,695	1,170			10,865
研究調査費	930	100			1,030
光熱水料費	8,150	0			8,150
リース料	3,550	1,700			5,250
賃借料	85,810	5,653			91,463
不動産管理費	5,425	355			5,780
委託費	86,636	140			86,776
業務推進費	14,380	7,400			21,780
嘱託医関係費	100	0			100
諸謝金	180	130			310
雑費	5,882	54			5,936

科 目	収益事業 健診事業	収益事業 健康支援事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
管 理 費			61,094		61,094
役 員 報 酬			170		170
給 料 手 当			31,600		31,600
法 定 福 利 費			4,675		4,675
退 職 給 付 費			62		62
派 遣 経 費			3,500		3,500
福 利 厚 生 費			2,680		2,680
旅 費 交 通 費			200		200
減 価 償 却 費			1,390		1,390
消 耗 品 費			10		10
修 繕 費			800		800
保 守 費			2,150		2,150
印 刷 製 本 費			230		230
研 究 調 査 費			10		10
リ ー ス 料			703		703
保 険 料			1,600		1,600
支 払 助 成 金			2,000		2,000
諸 謝 金			3,195		3,195
租 税 公 課			1,520		1,520
委 託 費			3,900		3,900
業 務 推 進 費			255		255
雑 費			214		214
会 議 費			230		230
経 常 費 用 計	688,783	87,833	61,094	0	837,710
当 期 経 常 増 減 額	17,217	26,167	- 61,094	0	- 17,710
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	17,217	26,167	- 61,094	0	- 17,710
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高					270,338
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高					252,628
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0	252,628

役員・評議員名簿

役 員 名 簿

理 事 長 今 泉 宏 久

理 事 内 田 賢

理 事 森 田 健

監 事 田 口 寛 明治安田生命保険相互会社 理事 関連事業部長

評 議 員 名 簿

阪 本 要 一 東京慈恵会医科大学客員教授

下 門 顯太郎 東京医科歯科大学名誉教授

上 坊 敏 子 独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院
婦人科腫瘍センター顧問

室 山 尚 子 明治安田生命東京診療所所長

